|  |
| --- |
| 三中校長だより　保護者地域の皆さんへ令和4年度　第４号　R4.5.31（火)藤井寺市立第三中学校校　長　　奥　雅 美 |

**社会人基礎力　１**

今年の学校教育目標の中に「社会人基礎力の育成」という言葉を入れました。今年４月１日から民法が改正されました。１８歳で成人となり、カードやローンの契約を自分の責任で組むことができます。高校３年生の誕生日で成人として扱われることに不安を感じている若者も多いそうです。中学卒業の段階で、もう社会人の入り口に立っているという自覚を持ってもらいたくてこの言葉を入れました。

教員たちもこの言葉の意味を考えてくれていて、先日あるクラスの学級通信に担任が考える「社会人基礎力」についての記事がありました。「『社会人基礎力』とは何か」という問いの答えはその人の価値観によって違いがあると思います。皆さんはどんなキーワードが思い浮かびますか？是非考えてみてほしいと思います。



**凡事徹底**

ソフトボール部の新入部員募集のポスターには「凡事徹底」という言葉が書かれています。「凡事徹底」とは何でもない当たり前のことを徹底的に行うこと、または、当たり前のことを極めて、他人の追随を許さないことなどを意味します。ソフトボール部はこれをスローガンに掲げ、基礎練習を大切にした活動を行っているそうです。野球のイチロー選手も高校生活の３年間誰よりもやったことは、寝る前に１日たった１０分の素振りを１日も休まず３年間続けたことだというエピソードがあります。成功をつかむ鍵はこんな所にあるのかもしれません。

日常生活の中にも「凡事」はたくさんあります。「挨拶をする」、「必要なときに ありがとうや ごめんなさいを言う」、「整理・整頓をする」、「身なりを清潔に保つ」、「掃除をする」、「靴を脱いだらそろえる」など、私たちが幼い頃から大切にするよう言われ続けていることです。やろうと思えば誰にでもできることだけど、ずっと継続するには強い心がいります。

ある大きな会社の社長が中学生に「将来社長になるには何をしたらいいですか」と聞かれ、上に書いたような「幼稚園の時に習ったことをずっと続けていられる人の中から社長は生まれます」と答えたそうです。これは何年も前にご本人から聞いた話ですが、とても印象に残った一言でした。

**準備するということ　4：美化緑化活動**

早朝、美化委員のメンバーが玄関ホールやスロープの掃除をしてくれています。この場所は全生徒や来客の通り道になっていて、一番目につきやすい所です。登校時、ここがきれいだと特に気持ちがいいです。美化委員会の朝の清掃活動は十年以上前から続けられている三中の良き伝統となっています。授業前から熱心に活動してくれ、とても嬉しいです。また、スロープに並べてあるプランターの花は地域ボランティアさんと緑化委員が整えてくれています。さらに、門の外の道路は施錠員さんが毎日掃いてくださっています。

このように皆さんのおかげで、三中生が日々の学校生活を始める準備が整えられています。本当にありがとうございます。